

令和2年度 学校評価アンケート年度末まとめ〈結果〉

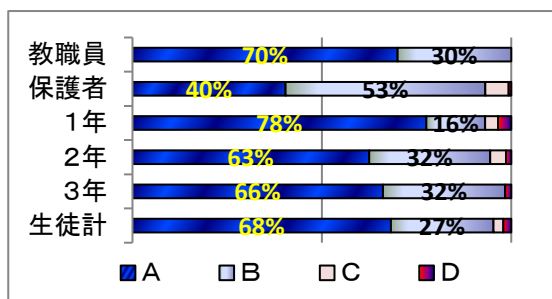
- ★アンケート回収率→生徒88%, 保護者67%
- ★Aよく当てはまる(4点) Bだいたい当てはまる(3点) Cあまり当てはまらない(2点) D全く当てはまらない(1点)
- ★目標値=3.0以上

1 満足度

生徒・保護者:南陽東中学校で楽しく学校生活を送ることができている

教職員:南陽東中学校に誇りをもち、「教職員の和」を意識して意欲的に働くことができている

	A	B	C	D	年度末pt	R2中間
教職員	70%	30%	0%	0%	3.70	3.50
保護者	40%	53%	6%	1%	3.33	3.42
1年	78%	16%	3%	3%	3.67	3.56
2年	63%	32%	4%	1%	3.56	3.55
3年	66%	32%	0%	2%	3.63	3.55
生徒計	68%	27%	3%	2%	3.61	3.55

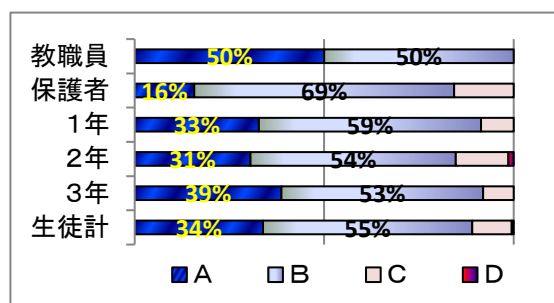


2 能力発揮

生徒・保護者:自分の能力を十分に発揮して生活していると思う

教職員:生徒一人一人の個性を認め、能力を発揮できる機会を生み出そうと努力している

	A	B	C	D	年度末pt	R2中間
教職員	50%	50%	0%	0%	3.50	3.50
保護者	16%	69%	16%	0%	3.00	3.01
1年	33%	59%	9%	0%	3.24	3.09
2年	31%	54%	14%	1%	3.14	3.16
3年	39%	53%	8%	0%	3.31	3.39
生徒計	34%	55%	10%	1%	3.22	3.21

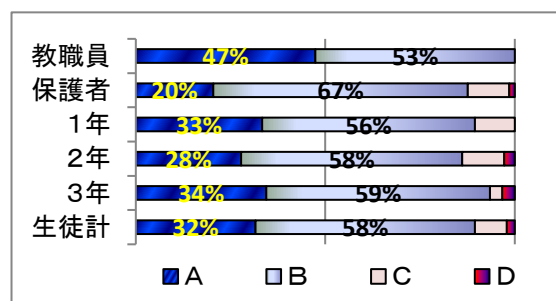


3 授業

生徒・保護者:授業は分かりやすく、取り組みやすい内容になっている

教職員:様々な工夫をして、分かりやすい授業をしている

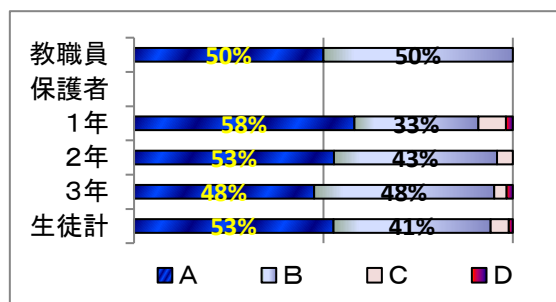
	A	B	C	D	年度末pt	R2中間
教職員	47%	53%	0%	0%	3.47	3.36
保護者	20%	67%	11%	1%	3.07	3.18
1年	33%	56%	11%	0%	3.23	3.22
2年	28%	58%	11%	3%	3.11	3.03
3年	34%	59%	3%	3%	3.25	3.25
生徒計	32%	58%	8%	2%	3.19	3.16



4 道徳

生徒・教職員:道徳の授業では、他人を思いやる心や認め合う姿勢を身に付けたり、自分を見つめ直したりする機会が設定されている

	A	B	C	D	年度末pt	R2中間
教職員	50%	50%	0%	0%	3.50	3.25
保護者						
1年	58%	33%	7%	2%	3.47	3.23
2年	53%	43%	4%	0%	3.49	3.47
3年	48%	48%	3%	2%	3.41	3.39
生徒計	53%	41%	5%	1%	3.46	3.37

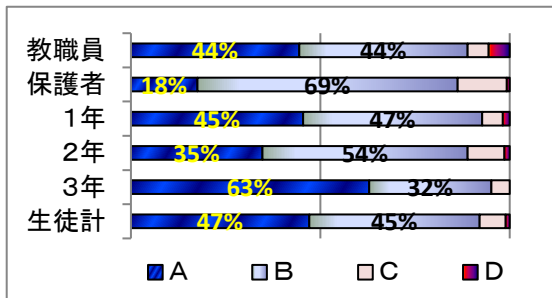


5 学び合い

生徒・保護者：各教科の授業や学活・道徳・総合の時間に、自分の意見や思いを積極的に伝えたり、友人の意見に真剣に耳を傾けたりしている

教職員：各教科の授業や学活・道徳・総合の時間に、生徒たちが積極的に発表できるよう支援したり、グループ学習など学び合いの場を工夫したりしている

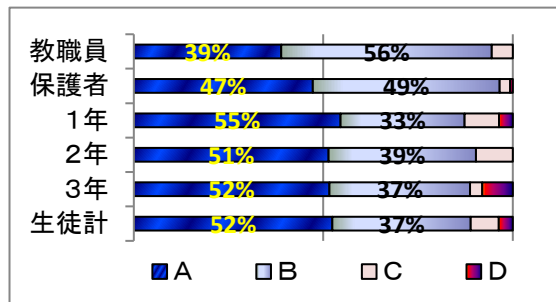
	A	B	C	D	年度末pt	R2中間
教職員	44%	44%	6%	6%	3.28	3.43
保護者	18%	69%	13%	1%	3.03	3.11
1年	45%	47%	5%	2%	3.36	3.14
2年	35%	54%	10%	1%	3.22	3.16
3年	63%	32%	5%	0%	3.58	3.45
生徒計	47%	45%	7%	1%	3.38	3.25



6 奉仕活動

生徒・保護者・教職員：地域奉仕活動や花いっぱい活動は、豊かな心を身に付ける機会として有意義であると思う

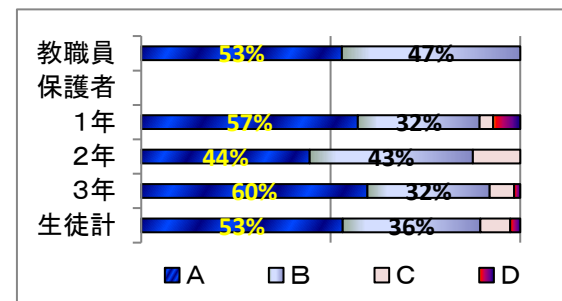
	A	B	C	D	年度末pt	R2中間
教職員	39%	56%	6%	0%	3.33	
保護者	47%	49%	3%	1%	3.43	
1年	55%	33%	9%	4%	3.38	
2年	51%	39%	10%	0%	3.42	
3年	52%	37%	3%	8%	3.50	
生徒計	52%	37%	7%	4%	3.38	



7 漢字計算・朝読書

生徒・教職員：朝学習・朝読書・漢字・計算コンクールは、確かな学力を身に付ける機会として有意義であると思う

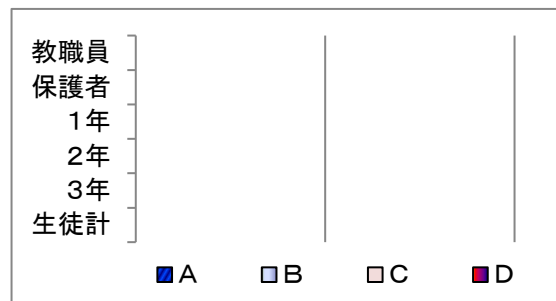
	A	B	C	D	年度末pt	R2中間
教職員	53%	47%	0%	0%	3.53	3.50
保護者						
1年	57%	32%	4%	7%	3.39	3.33
2年	44%	43%	13%	0%	3.32	3.29
3年	60%	32%	6%	2%	3.50	3.48
生徒計	53%	36%	8%	3%	3.40	3.36



8 体育大会

生徒・保護者・教職員：球技大会や体育大会は、学級の団結力を高め、体力を高めることのできる機会として有意義であると思う

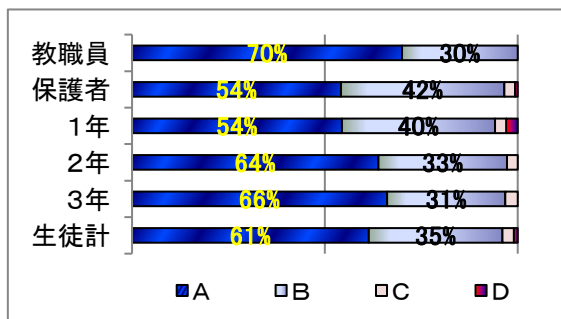
	A	B	C	D	年度末pt	R2中間
教職員						3.79
保護者						3.51
1年						3.47
2年						3.63
3年						3.50
生徒計						3.54



9 文化祭

生徒・保護者・教職員：文化祭の合唱コンクールや作品展は、学級の団結を高めたり、互いの努力や能力を認め合ったりする機会として有意義であると思う<年度末評価で>

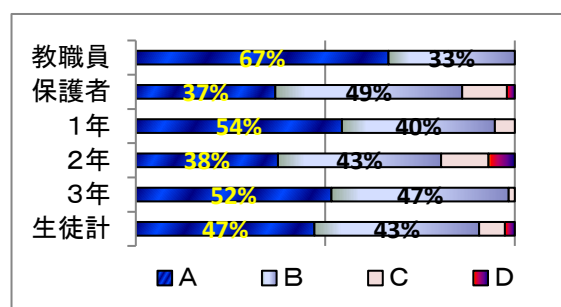
	A	B	C	D	年度末pt	R2中間
教職員	70%	30%	0%	0%	3.83	
保護者	54%	42%	3%	1%	3.43	
1年	54%	40%	3%	3%	3.35	
2年	64%	33%	3%	0%	3.58	
3年	66%	31%	3%	0%	3.78	
生徒計	61%	35%	3%	1%	3.57	



10 親身な相談

生徒・保護者：先生たちは教育相談のときはもちろん、ふだんから親身になって相談事に応じてくれる
 教職員：家庭訪問や教育相談・保護者会等も含めて、ふだんから親身になって生徒や保護者の相談に対応している

	A	B	C	D	年度末pt	R2中間
教職員	67%	33%	0%	0%	3.67	3.85
保護者	37%	49%	12%	2%	3.21	3.33
1年	54%	40%	5%	0%	3.49	3.35
2年	38%	43%	13%	7%	3.11	3.27
3年	52%	47%	2%	0%	3.50	3.42
生徒計	47%	43%	7%	3%	3.35	3.34

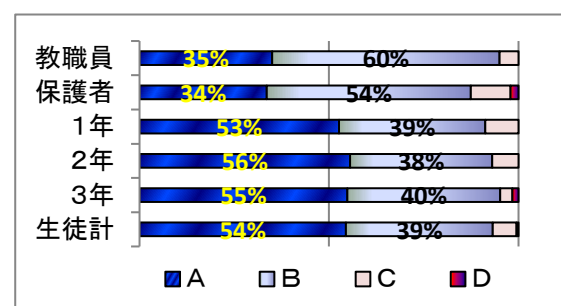


11 基本的な生活習慣

生徒・保護者：学校はあいさつをしたり、身なりを整えたり、決められた時間を守ったりするなど、基本的な生活習慣を身に付けることができる

教職員：身だしなみや、あいさつ・言葉遣い・時間や約束を守ることなど基本的な生活習慣を身に付けさせるために、しっかり指導している

	A	B	C	D	年度末pt	R2中間
教職員	35%	60%	5%	0%	3.30	3.21
保護者	34%	54%	10%	2%	3.19	3.31
1年	53%	39%	9%	0%	3.44	3.52
2年	56%	38%	7%	0%	3.49	3.57
3年	55%	40%	3%	2%	3.48	3.56
生徒計	54%	39%	6%	1%	3.47	3.55



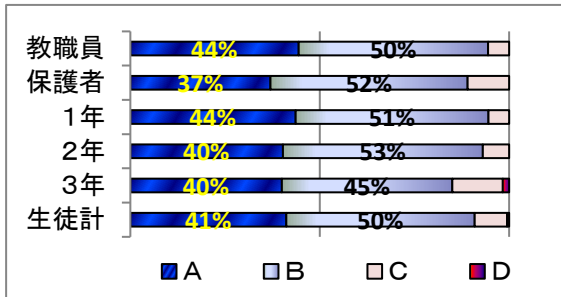
12 生徒会

生徒：生徒会活動では、より充実した学校生活を送れるように、一人一人の意見を反映した活発な活動が行われている

保護者：学校は、学年通信やホームページで、学校の様子を保護者に伝える努力をしていると感じる

教職員：学年通信やホームページで、学校の方針や学校の様子を生徒や保護者に伝えている

	A	B	C	D	年度末pt	R2中間
教職員	44%	50%	6%	0%	3.39	3.46
保護者	37%	52%	11%	0%	3.26	3.30
1年	44%	51%	5%	0%	3.38	3.31
2年	40%	53%	7%	0%	3.33	3.31
3年	40%	45%	13%	2%	3.23	3.33
生徒計	41%	50%	9%	1%	3.32	3.32

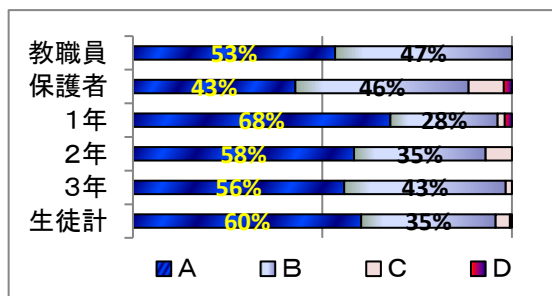


13 部活動

生徒・保護者:部活動は、学年の枠を超えた人間関係を学んだり、心身をきたえたりする場として有意義であると思う

教職員:部活動は、学年の枠を超えた人間関係の形成や心身の鍛練等を目的とし、一定の規律の下、指導を行っている

	A	B	C	D	年度末pt	R2中間
教職員	53%	47%	0%	0%	3.53	3.42
保護者	43%	46%	9%	2%	3.29	3.40
1年	68%	28%	2%	2%	3.62	3.40
2年	58%	35%	7%	0%	3.51	3.53
3年	56%	43%	2%	0%	3.54	3.53
生徒計	60%	35%	4%	1%	3.55	3.49



令和2年度 学校評価アンケート年度末まとめ<考察>

<全体に関わって>

今年度は新型コロナウイルス感染拡大によって、制限された中で学校生活であったが、すべての項目の基盤となる1「学校生活を楽しく送ることができている」に対しては、95%の生徒が概ね学校生活に満足していることが分かる。小規模校という特徴を生かし、保護者や地域の協力の下で教職員がきめ細かく生徒を支援し、学校行事や学年行事において、リーダーを中心とした主体的な活動を多く設定している成果であると考えられる。特に9「文化祭の合唱コンクールや作品展は学級の団結を高め、互いの努力や能力を認め合う機会として有意義だと思う」は生徒・保護者の評価がそれぞれ96%に達しており、中間評価における体育大会と同様、文化祭の意義が極めて高く評価されている。

しかし、2「能力発揮」に関しては、Cと答えている生徒が比較的多い。それらの生徒もそれぞれの個性を発揮して学校生活を送ることができるように、日ごろの関わりの中で生徒たちがそれぞれ得意なことや自信のあることを教師が見出し、活躍の場を設定していくとともに、道徳の授業や進路指導をさらに充実させていく必要がある。

本校の特色ある取り組みである6「地域奉仕活動・花いっぱい活動」は豊かな心の育成の場として、13「部活動」は心身の鍛練と人間関係を学ぶ場として有意義であると考えていることが分かる。また、11「基本的な生活習慣」では、「あいさつができるようになった」「身なりを整えようと思うようになった」「自分で時間を見て素早く行動することができた」「周りの人にも気を配れるようになった」など前向きな記述が多く見られた。

<学校努力点に関わって>

H30年度より本校では「仲間と学び合い、互いに認め合う生徒の育成」を学校努力点の主題として取り組み、授業づくりに対する教職員側の意識は大きく高まった。教職員一人一人が名古屋市教育委員会が示している「なかまなビジョン」や学校努力点を意識して授業改善に取り組んだ成果である。今年度は授業の「展開」の場面に焦点を当てて努力点に取り組み、生徒の学習意欲を高めることができた。

3「分かりやすい授業」においては生徒・教職員、5「学び合い」の項目においては生徒の評価ポイントが中間評価以上の数値となった。

来年度は引き続き、仲間と対話する「展開」の場面に焦点を当てた努力点に取り組み、授業参観などの機会を通して、保護者が「分かりやすい授業」を実感していく工夫を行っていききたい。また、教職員間で互いの授業を見合う雰囲気や定着させ、全校で成果を共有することで、学校全体の授業力をさらに高めていきたい。

<今後の取り組み>

学校努力点での取り組みの中で大切にしてきた2「一人一人の個性を認め、能力を発揮できる機会を生み出す」、3「分かりやすい授業をつくる」、5「自分の意見を積極的に伝え、友人の意見に真剣に耳を傾けるよう支援する」、10「親身になって相談に応じる」ことは、いじめ防止にもつながり、生徒が生き生きと学校生活を送る上で大切な項目である。

特に10「親身な相談」の項目は、中間評価と比べて生徒の評価が上がっている。H30年度からスクールカウンセラーが常勤となったことで、教職員と連携して生徒や保護者が相談できる体制がより整ったことも大きいと思われる。来年度はH29年度から実施している1年生対象の弁護士による「いじめ予防出張授業」の取り組みをより早い段階で実施するとともに、今年度は開催することができなかった「ネットトラブル講演会」と併せて外部と連携しながら、4「道徳」の項目にもさらに力を入れていきたい。また、今までと同様、「認め・認められる学級づくり」を継続し、生徒が安心して学校に来られる環境の基盤をつくっていききたい。

7「確かな学力」の項目においては「できた」「分かった」と実感できる授業づくりを目指し、学び合いの活動をさらに重視するとともに、指導方法の工夫・改善を重ねていく必要がある。今後も生徒の「自己有用感」や「自己肯定感」を高め、一人一人が互いに認め合うことができるような学校づくりに継続して取り組んでいき、学年通信や学校だより、ホームページなどを通して、12「情報発信」も積極的にやっていきたい。